

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 石川県金沢市立花園小学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒920-0106  
石川県金沢市今町ヌ34

E-mail : hanazono-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : <http://cms.kanazawa-city.ed.jp/hanazono-e>

児童生徒数：男子 74名 女子 68名 合計 142名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

## 1年生

「きせつと あそぼう」 ～あきといっしょ～

2年生から「秋のハロウィンランド」をいっしょに開こうという提案があった。そこで、1年生は秋の自然の物を使ってみんなで遊べるゲームやお店の品物を作ることになった。どのグループも自分たちで集めた材料を使って、工夫しながら作る姿が見られた。

当日は、遊びのルールをわかりやすく説明したり、実際にやって見せたりしながら交流して楽しんだ。どのお店にも、保育所の年長さんや2年生がたくさん来てくれ、みんなで遊ぶ楽しさを味わうことができた。

## 2年生

「あそんで ためして くふうして」

1年生と一緒に年長さんも招いて「秋のハロウィンランド」を開いた。一番年上の2年生が中心になって計画しようと思決意的に取り組んだ。めあては「みんながなかよく、ときどきもして楽しくなるような会にしよう」と決まった。めあてやプログラム、お願いすることを1年生に提案をし、当日の進行もした。ペットボトルや空き箱などの身近な素材の特徴を生かし、楽しく遊べるおもちゃを作り、どうやったらもっと楽しんでもらえるか考えて工夫することができた。

## 3年生

「花園きく作り探検隊」

花園地区でよく見られる菊畑。なぜ、花園では花作りが盛んなのか、花園という地区名の由来はどこから来ているのかという児童の思いから学習をスタートした。実際の菊作りを通して、栽培活動には摘芯・植え替え・消毒など様々な手間が必要なことを知ると共に、地域の菊作り農家の方々から昔の出荷の様子や機械化が進んだ今も苦労が絶えないことを聞き、その大変さを感じることができた。そして、花園の由来を地域の方から教えていただき、それらのことをまとめて児童集会で発表した。さらに、栽培した菊を使ったアレンジメントし、お世話になってきた方々にお礼の気持ちを込めてプレゼントした。

これらの活動を通して、日頃何気なく見ていた花畑の景色に愛着を持ったり、関心を持って眺めたりする児童の姿が見られるようになった。地区名の由来を学んだり、特産物の栽培に関わったりしたことは、将来花園地区の担い手として成長する児童の郷土愛の素地作りにつながったと考える。

## 4年生

「花園めぐり」のなぞをさぐろう

校区には、「花園めぐり」という地域の民謡がある。それぞれの町のいわれや伝説、名所などが歌われている。運動会の時に毎年踊っているが、その歌詞の意味はわからない児童がほとんどであった。そこで、地域の資料を読んだり地域のことをよく知っている方に聞いたりして、歌詞の意味を調べた。調べたことは児童集会でプレゼンソフトにまとめて発表した。

また、地域の方に教えてもらい、実際に「花園めぐり」を三味線や太鼓で演奏も体験した。演奏する技術だけではなく、礼儀作法や楽器の扱い方、演奏するときの心構えについても教えていただいた。今年は、浅野川小学校の4年生と交流し、それぞれの学校で学習したことを発表したり「花園めぐり」の演奏

を披露したりした。

児童は、この学習を通して、今まで知らなかった自分達の地域の歴史や伝説、それぞれの特徴について知ることができ、地域への愛着をもつことができた。また、日本の伝統的楽器の演奏を体験することで、日本人としての礼儀作法や心構えを学ぶことができたことも大きな収穫である。

#### 5年生

##### レツツライ 米作り

花園地区では、昔から米作りが盛んに行われ、学校の周りにも田んぼが広がっている。しかし、実際に米作りを体験している児童は少ない。そこで、社会科の学習との関連をはかり、米作り体験をしてみようと学習に取り組んだ。地域の方々の協力を得て、手作業による田植えや稲刈り、昔の道具を使った脱穀作業などを体験した。これらの活動を通して、現在の米作りとの違い、昔の人の米作りの工夫や大変さを知ることができた。

また、これらの体験から学んだことや調べたことをプレゼンにまとめ、児童集会で他学年や地域の人に紹介し、米作りについて知ってもらうことができた。さらに、米作りにご協力いただいた地域の方々に、収穫したお米を使った料理を作り感謝の気持ちを伝えるとともに、地域の方々との交流を深めることができた。

#### 6年生

##### 校区の偉人 八田與一について調べよう

児童は、本校出身である金沢市の偉人「八田技師」が、台湾に烏山頭ダムを作ったということは知っているが、どうして台湾で神様のように慕われているのかまでは知らない。そこで、さらに深く調べることにした。まず、金沢市に住む台湾出身の方から烏山頭ダムができた後の生活の変化を聞いた。話を聞くことにより、当時の台湾の様子や八田技師の業績について肌で感じる事ができた。また、八田技師の成し遂げたことや人柄、生い立ちなどについて、児童が課題を設けて調査活動を行なった。さらに、八田技師の生家を訪問した。実際に生家を訪問することにより、身近に八田技師を感じる事ができた。調べたことは、児童集会で発表し、全校児童に伝えた。これらの学習を通し、自分たちが将来仕事に就くときに大切にしなければならないことを校区の大先輩八田技師から学ぶことができた。

